

お客様・パートナー様各位

fusion_place 12.1 リリースのご案内

2023 年 9 月 27 日
株式会社フュージョンズ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。
この度、fusion_place の新バージョン「12.1」をリリースいたしましたことをご知らせ申し上げます。

記

1. リリースの位置づけ

本リリースは、新機能版です。fusion_place cloud、premium に提供されます。
fusion_place standard は提供されません。
フルバージョン番号は、12.1.0-S127 です。

本リリース時点でのサポート対象バージョンと対応は下表の通りです。

バージョン	EOM (end of maintenance) : 不具合修正パッチ提供期間	EOL (end of life) : セキュリティ修正パッチ提供 および 問い合わせ対応期間
新機能版 12.1 系列	— (新機能版のパッチバージョンリリースはありません)	次の新機能版または LTS リリースの 2 ヶ月後まで
LTS 12.0 系列	リリースから 1 年後 (2023/12/19) または 次の LTS リリースまで	次の LTS リリースの 1 年後 まで
新機能版 11.1 系列	— (新機能版のパッチバージョンリリースはありません)	終了
LTS 11.0 系列	終了	2023/12/19

新機能版・LTS(長期サポート版)の意味を含むバージョン管理方針については、以下の Q&A をご覧ください。

https://docs.fusionplace.net/qanda/ja/others/fusion_place-versioning-policy.html

2. ご提供方法

弊社サポート窓口 support@fusions.co.jp にお問い合わせください。お試しにご利用になる場合は、試用ページ <https://fusions.co.jp/premium-download-request> からインストーラをダウンロード頂けます。試用許諾条件・使用許諾条件とも、旧バージョンから変更ありません。既存のバージョンからのアップデートは大変簡単です。「[5. インストール方法](#)」をご参照ください。

3. 主な新機能・改善(前リリース 12.0.0 対比)

(1) マルチアプリケーション・ドリルダウン

複数アプリケーション間でシームレスにデータを参照できる マルチアプリケーション・ドリルダウン機能を実装しました。この機能により例えば以下のようなことが可能です。

- 親会社アプリケーションのフォーム画面からグループ会社アプリケーションのフォーム画面にドリルダウン
- サマリアアプリケーションのフォーム画面から目的別アプリケーションのフォーム画面にドリルダウン

マルチアプリケーション・ドリルダウンのサンプルは以下の Q&A よりダウンロードいただけます。

<https://docs.fusionplace.net/qanda/ja/form/form-multi-application-drill-down.html>

ご参考) ブログ: 開発中の機能のご紹介～マルチアプリケーションドリルダウン～

https://fusionplace.net/entry/DEV_FUNC-230214

(2) フォームの閲覧履歴表示機能

ツールバーの戻る(←)・進む(→)ボタンを右クリック、または長押しすることにより、ドリルダウンによるフォームの閲覧履歴を表示できるようになりました。履歴より以前表示した画面へ直接遷移することも可能です。これにより、分析業務がよりスムーズに行えます。

当機能の詳細については以下の Q&A ページをご参照ください。

<https://docs.fusionplace.net/qanda/ja/form/form-browsing-history.html>

(3) UI 改善

① 視認性の高い新しいアイコン

モダンで視認性の高い、統一されたデザインのアイコンに一新しました。

② データ表示領域の拡大

ボタンの配置、フォームタイトル表示箇所などを見直し、作業領域を拡大しました。

- ③ キーボードショートカットの見直し
OS のショートカットキーとの重複などを踏まえ、キーボードショートカットを見直しました。
- ④ アプリケーション選択ダイアログの改善
ログイン直後のアプリケーション選択ダイアログの UI を他の選択ダイアログと統一しました。
- ⑤ ユーザ設定の項目変更
ユーザ設定ダイアログに複数画面に分散していたユーザごとの設定項目を集約しました。

具体的な UI のイメージについては下記の Q&A をご覧ください。

https://docs.fusionplace.net/qanda/ja/form/ver12_1_ui_modification.html

(4) 列挙値の「値リスト定義ディメンション」に勘定科目・増減科目を指定可能に

従来は、列挙値の「値リスト定義ディメンション」にはカスタムディメンションのみ指定可能でしたが、システムディメンションの勘定科目・増減科目のメンバリストも指定可能になりました。

- リストボックスで勘定科目・増減科目を指定する場合に、カスタムディメンションとして別途登録する必要性がなくなりメンテナンスが容易に
- 仕訳的な画面の作成がこれまでより容易に作成可能に

当機能を用いたサンプルは以下の Q&A よりダウンロードいただけます。

https://docs.fusionplace.net/qanda/ja/form/form-slip_enum.html

(5) 元帳版管理対象外のシナリオ

シナリオに「元帳版管理の対象から除外する」の属性を追加し、元帳版管理対象外のシナリオを設けることができるようになりました。当設定により、次のような改善が可能です。

- 不要な版管理を適用しないことによるデータ容量の削減
- ワークフローを用いた場合の運用の手間の削減
- ワークフローを用いた場合の部署間でのデータ授受方式の多様化

詳細については以下のマニュアルページをご参照ください。

https://docs.fusionplace.net/manual/ja/concepts/dimensions/period_scenario_and_fy/scenario_table.html#exclude_from_ledger_version_management

当機能の詳細については以下の Q&A ページをご参照ください。

https://docs.fusionplace.net/qanda/ja/database/exclude_from_ledger_version_control.html

他にいくつかのパフォーマンス改善、不具合修正等の改善を織り込んでいます。
 詳細については以下のリリース情報をご参照ください。

https://docs.fusionplace.net/manual/ja/releases/all_releases/v12.1.html#v12_1_0

4. 新バージョンへのアップデートに際してのご留意事項

以下は LTS12.0.系列からのアップデートの場合です。それ以前のバージョンからのアップデートは、各バージョンのリリースノートの留意事項もあわせてご確認ください。

① fusion_place 実行環境(FRE)のアップデート

今回リリースするバージョンでは変更がないため、アップデートの必要はございません。

② Excel-Link アドインファイルの差し替え

今回リリースするバージョンでは、不具合修正のため、Excel-Link アドインファイルが更新されています。したがって、当バージョンで Excel-Link の組み込みを実行すると、新しいバージョンのアドインファイルが Excel に組み込まれます。一方で、Excel-Link の当該不具合修正が不要な環境においては、組み込みを行わず、6.2.2 以降の旧バージョンのアドインファイルをそのままお使いいただくことも可能です。

不具合修正の内容は、下記変更履歴をご参照ください。

https://docs.fusionplace.net/manual/ja/releases/all_releases/v12.1.html#v12_1_0_defect_fixes

③ リクエスタのバージョン選択

今回リリースするバージョンには機能の変更がないため、アップデートの必要はございません。
 12.0.x までのリクエスタをお使いの場合は、引き続き Java11 以降をご使用いただけます。

アップデートする場合、fusion_place 12.1.0 のインストーラーに同梱の リクエスタファイル (fusion_place-requester-12.1.0-S127.jar)をお使いください。

当バージョンを使用するには Java17 が必須ですので、Java 11 をお使いの場合はアップデートください。(FRE(1.1.x) に含まれる Java を使用することも可能です。)

以下のページのクライアントコンポーネント更新情報もご参照ください。

https://docs.fusionplace.net/manual/ja/releases/all_releases/v12.1.html#v12_1_0_client_components

5. インストール方法

クラウドでご利用の場合、インストールは必要ありません。fusion_place cloud アップデートの詳細に関しては別途お知らせいたします。（「4. 新バージョンへのアップデートに際してのご留意事項」へのご対応は必要です。）

オンプレミスでご利用の場合のインストール手続き自体は旧バージョンと変わりません。インストールの前に、旧バージョンでお使いのデータベースをバックアップするとともに旧版のソフトウェアをアンインストールしていただく必要があります。

なお、サーバ機（スタンドアロンでご利用の場合は当該 PC）には実行基盤として Java が必要です。本バージョンより Java 17 が必須ですので、Java 11 をお使いの場合はアップデートください。

Java のインストールについては、以下のマニュアルページをご参照ください。

https://docs.fusionplace.net/manual/ja/setting_up/x1_procedures/installing_java.html

fusion_place のインストールの詳細については以下のマニュアルページをご参照ください。

https://docs.fusionplace.net/manual/ja/setting_up/overview/installing_new_version.html

インストール後、ユーザが fusion_place にログインする最初のタイミングで、データベースが最新のレイアウトに移行されます。移行処理は完全に自動的に行われますので、ユーザが手を煩わせる必要はありませんが、以下の点にご留意ください。

- ① データベースに含まれるデータ量が大きい場合、移行処理に数分かかることがあります。
- ② 移行されたデータベースファイル群を、もとのバージョンで使用できるレイアウトに戻すことはできません。
- ③ アップデートにおける新旧バージョン番号の差が大きい場合は、一時ファイルの累積量に伴いディスク容量が逼迫し、エラーが発生する可能性があります。詳細は下記 Q&A をご参照ください。

https://docs.fusionplace.net/qanda/ja/system_environment/Support_01016.html

以上